

# 蛍光灯電子安定器



SRCの蛍光灯電子安定器は従来の磁気式(銅鉄式)安定器ではなく、電子式=高周波発振(インバーター)方式です。高周波点灯により発光効率(照度)が上がるため、省電力化が実現され、同時にフリッカーやちらつきのない、目に優しい点灯を維持します。弊社標準ケース入りタイプの他、お客様のご要望に応じ基板単体タイプ、また、入出力コネクタ・基板サイズ・電源電圧・予熱回路の有無など、カスタマイズが可能です。

## ■ 主な特徴

### 1. PSE適合

ケース入りタイプは電気用品安全法(PSE)に適合しています。

### 3. 多重保護回路による安全設計

ランプ寿命末期回路、雷サージ防止回路、雑音防止回路、突入電流抑制回路など、多重保護回路内蔵の安全設計です。

### 5. 大幅な軽量化

製品の重量は従来型の磁気式安定器の約1/4\*と軽量です。また、設計や設置の簡素化により組み込まれる器具自体の軽量化も可能です。  
\*比較対象:40W1灯グロー式

### 7. 予熱回路の付加・高力率型での対応が可能

点灯頻度が多い条件下ではランプの寿命が著しく短くなります。その場合は予熱機能を付加することでランプ寿命を大幅に伸ばすことのできるYLモデルをご提案できます。また、高電力タイプの器具には、高力率型での設計対応も可能です。

### 2. 周波数フリー

電源周波数が50/60Hzのどちらでも動作できます。また、電源電圧の変動に対しても安定した点灯を維持できます。

### 4. ちらつき・耳障りな唸り音の発生を抑制

高周波点灯によりちらつきがなく、耳障りな唸り音も軽減されます。

### 6. 発熱量が少なく空調効率をアップ

インバーター方式はコイルなどによる発熱が少ないのが特徴です。それにより冷房装置などの空調にかかるコストを大幅に抑えることができます。

### 8. 高効率化による省電力化とCO<sub>2</sub>の排出削減効果

高周波点灯により銅鉄式安定器と比べ発光効率を上げることができます。明るさに対して消費電力を低減することができ、二酸化炭素の排出量削減にも寄与します。

## 《参考スペック》

型式	適合ランプ	入力電流(A)	入力電力	力率	灯数	外形寸法(L×W×H)
IVT-10111L	FL10	0.16	10.5W	低力率	1	158 × 40 × 30 mm
IVT-15111L	FL15	0.25	14W	//	//	//
IVT-20111L	FL20S	0.33	19W	//	//	//
IVT-30111L	FL30S	0.50	29W	//	//	//
IVT-32111LP	FL32S	0.46	29W	//	//	//
IVT-35111LP	FL35SS	0.51	32W	//	//	//
IVT-40112LP	FL40S	0.56	36W	//	//	//

■ その他、多灯用・AC200V入力・DC入力(バッテリー駆動)型等のカスタム品の開発・製造やハーネス接続の後加工も対応します。また、蛍光灯・照明器具・UV-LED照明も各種取り扱っています。お気軽にご相談ください。